

電信電話學會雜誌第七十二號

會長演說

會長 西 脇 吉 久

(昭和四年二月十六日本會通常總會に於て演說)

不肖圖らずも今回本會々長として會員諸君の御推舉を得ました事は過分の光榮とする處であります。

昨秋 今上陛下御即位の式が目出度終らせられました事は、國民の齊しく慶賀に堪えぬ處であります。本會々員の日常携つて居る電氣通信に關する事業が、過ぐる御大典の期間に於て、如何に重大なる任務を果たしたるかは、國民の齊しく認むる處であります。是れ本會々員の全部が畏れ多い事ではありますが、間接に御大典の御用の一部を奉仕するの光榮を負つた譯で、本會々員として誠に感激に堪えぬ次第であります。

却說本會の前身たる電氣試験所第二部研究會が明治四十四年に生まれましてから、以來電信電話學會となり、之れが更に先年社團法人組織に改められまして、會員數は准員其他全部で現在約三千名の多數に達し、其の陣容に於ても、其活動力の基礎に於ても、共に鞏固たるものと相成りました。斯の如く本會が今日の盛況に達する迄に培養せられて來たのは會員各位の熱誠に依るは勿論の事ではありますが、斯界の權威者たる歴代會長の献身的御努力の賜ものに外ならぬので、此際歴代會長に對し厚く感謝の意を表する次第であります。然るに不肖淺學菲才の身を以て、此の榮譽ある本會々長の重任を汚すに至りましたが、果して能く其任を完ふし得るやを只管憂慮に堪えぬ次第であります。幸に一般會員並に役員各位の御援助に依り本會のため多少なりとも盡す事を得ますれば、光榮之れに過ぎぬのであります。

此の機會に於て、電氣通信事業に對する私の感想を簡単に申述べ度いと思ひます。

電氣通信技術に關する近年の進歩の急なるは御承知の通りで今更喋々を要しませぬが、今其一、二につきて例を取つて見ますれば、パーマロイで負荷する事によつて、ケーブルによる電信通信速度を昇げ得たのは、つい兩三年來の事ではありますが、最近に至り亞米利加電話電信會社では、特種設計による此の種のケーブルを以て、米大陸と歐洲とを連絡する大西洋

横断の海底電話を實現する確信を得たと發表して居ります。之れが實現の曉には現在の無線による大西洋横断通話と比すれば、其安定度に於て、勿論同日の論でないのであります。而して此の種のケーブルによる時は、從來の電信通信速度は更に之れを昂上させる事が出来ると言つて居ります。

陸上長距離電話の可能距離につきては、ストックホルムから倫敦に出で、夫から大西洋横断無線電話で紐育に受け更に米大陸線を往復せしめて總計約一萬四千哩の通話試験に於て、全通話損僅かに二十 T. U. といふ好成绩を示し、且つ其明瞭度に於ても通話者の何人なりやを知り得たといふことであります。勿論此の回線には百個以上の中継器と八個の反響阻止装置を有して居たのであります。本邦に於ても、先年青森函館間の平等負荷電話ケーブルの敷設によりて、本土と北海道間の通信事業に多大の貢献をなして居り、また九州朝鮮間も近々電話用海底ケーブルを以て連絡の計畫がある様聞いて居りまして、大に吾人の意を強くする次第でありますが之れを前述の大西洋横断海底通話並に一萬四千哩通話等に比較して見れば、甚だ遺憾ながらまだ貧弱なる施設と申す外はないと思ひます。歐洲並に歐米の都市相互間に於ては國際電話が盛に利用せられつゝある現状から見れば、我が國は言葉其他の點より多少歐米各國の關係とは其の事情を異にしては居りますし、又經濟上其他種々の關係も勿論ありませうが、何んとかして此の問題につきては他國からの提議に引きづられて、始めて其準備に着手するのではなく、少くとも東洋に於ける盟主としての地位を保つて國際的通信網作成に力めて行きたいものだと思はれます。

ラヂオの連絡放送は歐米に於ては以前より實行されて居たのであります。本邦に於ては多少遅れはしましたが、昨秋の御大典を機として之れが開始を見ました事は、誠に有意義の事であると共に電氣通信技術の効果を國內に紹介した點に於て喜ばしく感ずるのであります。

此の放送中継用長距離回線の雑音を防ぐ方法として、歐洲ではケーブルの心線中特にスクリーンを施した回線を設ける方法を探ることになつたといふ事ですが、之等も大に考ふべき事であると思ひます。

無線通信界に於ける今日の興味の焦點は依然として短波長にありまして各國共に之れが研究に没頭して居つて、マルコニーのビーム式の如き多少効果を擧げたものもありはしますが、短波長の威力の發揮は尙將來に俟つものと思はれます。

テレヴィジョンの研究も漸次進みまして、單に實用的裝置の完成が今後に残されたる研究題目であると思はれます。本邦に於ても、多くの研究家が折角研鑽を積んで居られて、其内には已に實驗を公開せられ相當の成績を

收められた方もありますが、尙一層の努力を要する事と思ひます。

寫眞電送は本邦に於ても已に昨秋以來二、三の新聞社及び通信社によつて實地に使用されて居るのは一般に知らるゝ通りであります。寫眞電送に就て特に一言致し度きは、曩に本會々員丹羽保次郎博士によつて優秀なる方式が考案された事であります。同氏今回の發明の價値につきては其實用後の成績並に過日電氣學會に於て本件に關し同氏の功績を録し、淺野博士獎學祝金が同氏に贈呈されたのを見ても明かであります。斯の如く電氣通信事業に關する世界的發明が本會々員によつて成し遂げられた事は誠に喜ばしい次第であります。

數年前より歐米に於ては電信電話幹線路のケーブル化に多大の努力を拂つて居る様であります。之れ回線數の増加による必要とケーブル製造技術の進歩並に中繼器の完成の結果による事勿論でありまして、之れが爲に天災に對する通信の安固には多大の貢獻をなして居る事は言を俟ちませぬ。本邦の線路の如き地勢其他の關係上風水害の危險に曝さるゝ機會多き國に於ては殊更線路のケーブル化を必要とするのであります。本邦に於ても先づ幹線路ケーブル化の計畫が建てられ已に一部は之れが實現を見て居りますが、尙其完成の速かならん事を希望致すのであります。又市内加入者線の地下引込配線や架空裸線を少くしてケーブル配線にならんとする機運に向つて居る様に見えるのは詢に喜しき事と思はれます。

以上は最近の電氣通信技術の傾向の二、三を捉へ之れに少し許り不肖の感想を加へたるに過ぎませぬが、要するに、倦まざる研究と之れが實用化に對する努力との結晶が今日の電氣通信界の隆盛を齎したものであつて、斯界のため本會々員の眞摯なる研究努力を俟つものが多い事を強調したいのであります。本邦に於ける技術界の現状を見ますに總括的には遺憾ながら、歐米に一籌を輸するものあることを認めぬ譯にいきませぬ。然し之れも個人的に本邦人が彼に劣つて居るといふのでなく、其主たる原因は、研究といふ事(重要性)に對する社會の自覺に於て、彼我多大の相違あるによるものが寧ろ大きにあると信じます。或は善意に申せば其の必要は認めながらも、財力其他の關係上手の届かぬ點もある事と思ひます。之等の點につきては本會々員は協力してお互に研究に興味を持つ様になると共に適當の機會に於て社會の夢を打破するの機運を作つて行きたいものと希望する次第であります。

繼て本邦に於ける電氣通信關係の製造事業につきて一言しますれば、機械器具及材料の大部分は内地に於て供給されて居るものもありますが、尙之れ等の内で重要なる材料にして海外から供給されて居るもの多々ある現

状であります。之れは經濟的理由によるものもありませうが、必しも左様でないものもある様であります。此の事は技術上の面目論は勿論、又工業の獨立といふ點から見ても遺憾に堪えぬ處であります。近年本邦に採用されました自働電話交換機の如きは已に内地に於て一、二の會社では製造に着手された様であります、之れ等も我國に自働式採用の結果當然の事とは申しながら國家的に考へて慶賀の至りであります。只此上は此事業が經濟的に發展して、本邦より外國品を驅逐し海外に迄其販路を擴めるのみならず、進んでは海外品の模造たるに止る事なく、本邦獨特の優秀なる新方式の考案等にも努力せられんことを希望するのであります。尙重要なる機械器具及工事材料等の仕様に關しては之れが使用者側と製造者側との兩方面に重大なる關係を有するものでありまして、之等は本邦に於ける各般の特殊事情に應じて、特別の調査研究を要する事項が多いのでありまして、此の點に關しては從來共使用者と製造者と共同の調査機關の必要が充分認められて居たのでありましたが、本會の基金による事業として一昨年設けられました、電信電話用品標準調査委員會の重なる事業として實現を見るに至りましたことは誠に慶賀に堪へぬ處であります。

本日の總會に於ては從來多年の懸案でありました學會雜誌月刊の件が可決されまして、本會の活躍に一段の進展を與ふるに至りました事は誠に御同慶に堪えぬ次第であります。之れに伴つて、會費の値上げを餘儀なくされ、會員各位の負擔を増加した譯でありまして、會として會員に對する責任が増加したと言ふべきでありますから、役員が一層の奮發を以て會員の期待に背かぬ様努力すべきは勿論であります、會員各位に於かれても、一層の援助を吝まれないと共に有益なる論說の御寄稿をお願い致す次第であります。

次に基金による事業についてありますが、先程報告がありました如く共申込額は約八萬八千圓の巨額に達する盛況を見るに至りました。此基金は申す迄もなく寄附者各位の犠牲的精神の發露に成つたものでありまして、本會の誠に貴重なる財産であります。從來の理事者も右募集の主旨に則り、慎重審議の結果、本財源による事業の一つとして、前述の電信電話用品標準調査委員會及先刻報告の誘導障礙防止研究委員會なるものを設けられたのであると信じます。之等の委員會は其設立後日尙ほ淺く、ために未だ具體的成績を發表するに至つて居ないのであります、然し速からず相當の成績が擧げられて、基金募集の目的の一部が達成せられる事と信じます。本財源の運用に關し前記事業の外に尙適切にして必要なる事業がありましたならば、財源の許す範圍内に於て實行致し度い希望でありますか

ら御提言を願ひます。

終りに臨み特に一言致し度きは、本年秋東京に於て開催される萬國工業大會の件であります。御承知の通り此の大會は先年本邦に開かれた汎太平洋學術會議を除きては、本邦として未だ其例を見ない世界的の學術大會議でありますのみならず、今回の會議は其の規模に於て、今迄數次開かれた萬國工業大會中會て見ざる大規模のものゝ様であります、且つ申す迄もなく、今回の會議は工業界に於ける本邦の地位を世界に紹介するに絶好の機會でありますので、各學會並に關係團體に於ても全力を盡して其目的の達成に努めらるゝ事と信じて居りますから、本會に於ても之れがためには出來得る限りの努力を拂ひ度いと存じて居る次第であります。役員に於ても及ぶ限りの努力を致すつもりでは居りますが、如斯き大事業は少數役員のみ力では到底不十分たるを免れませぬから、會員各位の御援助を今日より御願ひ致す次第であります。

今日以後二年の間不肖が本會々長の席を汚しますに就きましては、一般會員並に役員各位の御援助と御指導とによつて、本會のため微力を盡し度いと考へますから、各位に於かれましても、本會のため御氣付の點は細大となく御忠言を賜らん事を希望致します。之れを以て就任の御挨拶と致します。

永い間御清聽を煩はしました事を感謝致します。